

課題研究指導力向上プログラム

6月13日(火)に高校教員対象の課題研究指導力向上プログラムが本校で行われました。課題研究における実験ノートの活用および評価方法や課題研究発表における評価方法について、SSH 部長が5限目に本校の取組を紹介しました。6,7限目には、課題研究(英語)発表会に参加して頂き、実際に発表評価をして頂きました。その後は各校の現状報告が行われ、大変有意義な研修会となりました。

※教員向けアンケートの一部を紹介します。

- 1 評価基準を明確にして指導していくことの大切さがわかりました。ルーブリック評価、実験ノートの評価など参考にしていきたいと思います。
- 2 ルーブリックが明確に示されている点がすごいと感じた。生徒の意識の変容が見られるしくみがあると嬉しい(実験ノートの記述から)
- 3 もっとたくさんの教員の参加があれば良くなっていくかなあとと思います。やはり SSH 校でないと内容がわからない部分が多いですが、他校での指導でも役立つかなと思います。
- 4 研究自体がおもしろいものが多かった。実験ノートを各自見たいと感じた。高1時の自分の課題研究をする前の取り組みや普通科の取り組みも知りたい。
- 5 非常にレベルが高く、英語力にも驚かされました。先生方の指導方法が素晴らしいからこそ成果だと思っています。生徒を伸ばす、力を発揮させる指導方法を再度考えていきたいと思います。

